

# 地域ネットワークだより

## 1万人が熱走! 鹿児島マラソン2024



鹿児島  
マラソン  
2024

3月3日に開催された鹿児島マラソンでは全国から集まった約1万人のランナーが鹿児島市街地や錦江湾沿いを駆け抜けました。



男子優勝  
デジェン・テスファレム・ウェルドウ選手

男子はマラソン初挑戦、アフリカ東部エリトリア出身のデジェン・テスファレム・ウェルドウ選手が優勝(タイム2時間14分50秒)。女子は、鹿児島銀行の上原美幸選手がレースを制した(タイム2時間39分17秒)。5年ぶりに声だし応援も解禁されランナーと沿道が一体となった熱気あふれる大会となりました。

MBCでは今年もKTSや系列局などの協力のもと、約70人のスタッフで午前8時から3時間半、テレビの生中継番組とネットのライブ配信を行いました。



女子優勝  
上原 美幸選手

MBCでは県内各地の高校生の活躍をテレビやラジオ、そしてイベントを通じて伝えています。2月から3月にかけて行われた3つのイベントを紹介します。

## 1 川商ハウスプレゼンツ てげてゲハイスクールフェスティバル



≡ 高校生による高校生のための高校生応援イベント！

高校の垣根をこえた大文化祭「川商ハウスプレゼンツてげてゲハイスクールフェスティバル」が2月17日、18日に鹿児島中央駅アミュ広場を中心に行われました。

これは高校生が主役のラジオ番組「てげてゲハイスクール（日/午後2時30分～）」から派生したイベントで今年で9回目をむかえました。

会場には県内各地から45校約700人の高校生が集まりました。ダンスや音楽などのステージ発表や、学科の特色を生かした加工品販売や体験ブースが立ち並び、2日間大勢の来場者で賑わいました。

卒業を控えた3年生にとっては高校生活最後の舞台ということで終幕後記念写真を撮る姿もみられました。フェスの模様は2月28日にMBCテレビ「てげてゲ」で紹介しました。



▲約700人の高校生が参加



▲鹿児島玉龍高校応援団の演舞



▲国分中央高校のファッションショー

## 2 SYNAPSEプレゼンツ 第1回MBC高校生クリエイターズアワード



『SYNAPSEプレゼンツ第1回MBC高校生クリエイターズアワード』は鹿児島の高校生の

創作活動を応援しようと今年度初めて行われました。

参加対象は県内に住む高校生で、個人、団体問わず自由なテーマで制作した30秒の動画を募集したところ県内18の高校からのべ48作品が集まりました。

審査の結果、グランプリには出水高校の、島本葵さんの作品「Sweet Dreams!」が選ばれました。

これはネットの世界から離れ、自分たちの住む鹿児島の素晴らしさを実際に見て触れて体験しようというコンセプトで制作された作品で、アニメーションを多く用いて場面や登場人物の心情描写をわかりやすく表現したことなどが評価されました。受賞した6作品はMBCのホームページでご覧いただけるほかMBCテレビのCMでも放送します。



▲2月24日に行われた表彰式

## 3 SDGs QUEST みらい甲子園 鹿児島県大会



「みらい甲子園」は高校生がチームとなり社会課題解決のアクションアイデアを考える全国規模のコンテストです。鹿児島では2回目の開催となり今年度は離島も含めた県内各地の高校から64チーム、約230人が参加しました。

3月10日に鹿児島市で行われたファイナルセレモニーには県内各地の高校から選考を通過したファイナリスト12チームが集まりました。

審査の結果、最優秀賞に選ばれたのは曾於高校が提案した「焼酎かすから広がる未来」でした。

現在、産業廃棄物となっている焼酎粕から自然共存可能なプラスチックを生成し再利用しようというアイデアです。曾於高校チームはこの夏、全国の最優秀チームが集う交流会に参加し意見交換を行う予定です。



▲最優秀賞 曾於高校



▲ファイナリストの各チーム

「南さつま海道 鑑真の道歩き」と「龍馬ハネムーンウォークin霧島」は、1月の「いぶすき菜の花マーチ」とあわせて「かごしま春の三大ウォーク」に数えられています。MBCはこの2つのウォーキング大会の実行委員会に開催当初から参加しています。

南さつま海道

# 鑑真の道歩き



南さつま市の坊津地区は、仏教の発展に貢献した鑑真の上陸地として知られています。

鑑真の足跡に思いを馳せながら、坊津や笠沙など南さつま海道の絶景をめぐる「南さつま海道 鑑真の道歩き」は2013年に始まりました。

今年2月24日(土)に開催され、東シナ海を眺めながら歩く初級者向けの笠沙コース(約10キロ)と、日本三津とうたわれ栄えた坊津の町や鑑真初上陸の地を巡る上級者向けの久志・秋目コース(約20キロ)の2つのコースに約800人が参加し、早春のウォーキングを楽しんでいました。



# 龍馬 ハネムーンウォーク in霧島

霧島は幕末の志士・坂本龍馬と妻お龍が日本初の新婚旅行で訪れた場所として知られています。

龍馬夫妻ゆかりの地を歩く「龍馬ハネムーンウォークin霧島」は1997年から始まりました。

今年霧島温泉コース(9.2キロ)とみやまの森霧島神水峡コース(16.4キロ)の2コースに、県内外から約1000人が参加しました。

湯けむりが立ち上る霧島の雄大な自然の中を歩いた参加者からは「他にはない絶景を楽しみました」などの声が聞かれました。

今年1934年に日本で最初の国立公園に指定された霧島国立公園の指定90周年記念セミナーも開催され、霧島九面太鼓保存会による演奏などが披露されました。





少子化による児童生徒数の減少で県内でも学校再編が進んでいます。

MBCラジオ「モーニングスマイル(月～金 6:30～)」では3月11日からの1週間、閉校ウィークと題し閉校をむかえる県内各地の小学校をポニー号で訪れ、最後の声を生中継でお伝えしました。



## 薩摩川内市立 蘭牟田小学校



薩摩川内市では、旧 祁答院町地域の小学校再編で黒木小、蘭牟田小、上手小、大婁小の4つの学校が統合され今年4月に祁答院小として生まれ変わります。

155年の歴史がある蘭牟田小では6年生の

3人に学校の思い出を聞きました。

蘭牟田小では、地域の田んぼを借りて米作りを体験する授業が行われていました。収穫した米を昔ながらの釜で炊き、おにぎりを作るという体験について話してもらいました。

## さつま町立 求名小学校

創立153年、全校児童23人の求名(ぐみょう)小はこの春、永野小、中津川小と統合され薩摩小に生まれ変わります。6年生に思い出を聞いたところ鹿児島実業新体操部と共に行った「長縄パフォーマンス」と校区民あげて行われた最後の運動会のことを話してくれました。



## 薩摩川内市立 上手小学校

蘭牟田小と同じ祁答院地区にある上手小は全校児童37人、146年の歴史がある小学校です。5年生の児童に学校での思い出を聞いたところ「週末プリント」について話してくれました。これは教頭先生から5年生に課される宿題で難しい問題が様々な教科



から出題され、1週間かけて解くそうです。教頭先生自ら採点と指導をしてくださるということで小規模校ならではのあたたかさを感じました。

## 曾於市立 高岡小学校

創立151年の高岡小のこれまでの卒業生は2844人にのぼります。

全校児童5人はいつも先生たちと一緒に鬼ごっこやフラフープなどで遊んでいたそうです。4年生の児童は「次の学校でも、たくさん話をして、友達をたくさん作りたいです。」と意気込みを話してくれました。

高岡小は、4月から末吉小に統合され新たなスタートをきります。



## 南さつま市立 長屋小学校



日本書紀にも登場する標高513メートルの長屋山(ちょうやさん)の麓にある長屋(ながや)小は3月で145年の歴史に幕を閉じます。

全校児童5人に話を聞いたところ、地域の方々との交流で餅つきや長屋山登りをした思い出を話してくれました。長屋小は内山田小とともにこの春から加世田小に統合されます。

